

研究に関するご協力をお願い

福島県立医科大学麻酔科学講座では、本学倫理審査委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。本学における情報の利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2026年 1月

福島県立医科大学医学部麻酔科学講座 井上聡己

■ 研究課題名

献体遺体の腸骨筋膜下に投与した造影剤の広がりを調べる解剖学的研究

■ 研究期間

2026年2月 ～ 2028年1月

■ 研究の目的・意義

大腿神経ブロックは、下肢の痛みを和らげる目的で行われています。近年、超音波で観察しながら、腸骨筋膜下という場所に薬液を注射する、「腸骨筋膜下ブロック」という方法が主流になっています。この方法では大腿神経に加えて外側大腿皮神経や閉鎖神経といったほかの神経もブロックでき、より広い範囲の鎮痛が可能と言われていますが、閉鎖神経に関してはブロックできるかどうかは不確定といわれています。

本研究では、ご献体を用いて、腸骨筋膜下に投与した薬液が閉鎖神経に広がるか否かを調べることを目的としています。腸骨筋膜下ブロックでの閉鎖神経のブロックの可否を知ることで、とくに股関節の手術後などで、適切な鎮痛を可能にすることが期待できます。

■ 研究対象となる方

生前にご本人およびご家族の同意が得られている献体（志らぎく会会員）が対象です。

■ 研究の方法

ご献体の腸骨筋膜下に造影剤を注入した後に CT 撮影し、造影剤の広がりを調査します。

■ 試料・情報の利用を開始する予定日

2026年2月1日

■ 研究組織

この研究の研究事務局は福島県立医科大学麻酔科学講座であり、研究責任者は麻酔科学講座 井上聡己です。集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長 竹之下誠一であり、それらの情報は福島県立医科大学麻酔科学講座で利用し解析を行います。

■ 他の機関などへの試料・情報の提供について

該当なし

■ この研究に関する問い合わせ

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、試料・情報がこの研究に利用されることについて、代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに試料・情報の利用や提供はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取消すことは困難な場合もあります。

問い合わせ先

〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地

公立大学法人福島県立医科大学医学部麻酔科学講座 担当：大石理江子

電話：024-547-1342

e-mail：rieponko@fmu.ac.jp